

平成25年度 串間市立金谷小学校 学校関係者評価書

	評価指標	学校の自己評価コメント	自己 評定	学校関係者評価コメント	関係者 評 価
体力の向上と食育の推進	自分の目標に向かって、困難にくじけず最後までやり抜く子どもの育成	<p><b>【体力テスト判定結果】</b>  <b>A:5名 B:10名 C:8名 D:3名 E:0名</b>                      体力テスト結果は、前年度と同様よい結果となっています。体育科での取り組みや昼休みの外での遊び等が児童の体力向上に効果を上げているものと思われます。次年度も継続して取り組み、児童の体力向上を目指します。</p>	2.8	体育科での取り組みや昼休みの外での遊び等がよい結果に結び付いているものと推察される。今後も同様の取り組みをしていてもらいたい。	3.0
		<p>・10時前就寝90%達成                      ・むし歯のない児童73%達成                      むし歯のない児童率の目標は達成しましたが、依然としてむし歯があっても治療しない家庭があります。粘り強く保護者への啓発を図っていきます。</p>	3.3	就寝やむし歯の治療については家庭が中心となすべきことであるが、学校からの働きかけで少しでも100%に近づけてほしい。	3.4
		<p>・全員出席日68%                      ・朝食摂取率99%                      全員出席日の目標80%達成は難しい状況にあります。インフルエンザやウイルス性胃腸炎による欠席等がその理由です。兄弟姉妹からの感染、休日の活動での感染が原因と思われる、学校で感染拡大の危険性があります。そのため、手洗い、うがいの励行や放課後の教室消毒を行いました。現在のところ、学校が行う予防で感染拡大は防ぐことができています。                      朝食摂取は達成できたと言えます。食に関する指導を計画的に実施し、その大切さが保護者、児童ともに伝わっているようです。</p>	3.4	今年度は、県内でもインフルエンザの大流行で出席率の低下はやむを得ないことである。学校でのうがい・手洗いの励行によって感染拡大を防いでいることは高く評価する。 朝食摂取は学校の食に関する指導で効果が出ている。 今後も目標を高くもち、元気な学校をつくってもらいたい。	3.8
基本的な生活習慣の	善悪の判断ができ相手の立場を考えた言葉遣いや行動ができる子どもの育成	<p>・時と場を考えた言動達成率50%(14名)                      達成率は50%で評定は2.9ポイントで差があります。「時と場」に応じた言動ができると判断する規準を具体的に示して、指導する必要があります。</p>	2.9	低学年から長い目で指導を続けることで、次第に分かってくると思う。言葉遣いは地域性もあるが、社会性の向上という面で学校の指導を今後も期待したい。	2.8
		<p>・元気のよいあいさつ75%(21名)                      学校でのあいさつはできるものの、校外でのあいさつがなかなかできないようです。個性もあるでしょうが、あいさつはコミュニケーションの第一歩なので、きめ細</p>	3.0	あいさつは人として最低限度のマナーである。地域でのあいさつは大変さびしいものがある。あいさつのできる児童が何でもできると思う。今後も力を入れて続けてほしい。	3.0

定着と豊かな心の育成		かな指導を行い、元気のよいあいさつがだれにでもできるように指導を続けます。		
		事故や非行、不登校児童は本校には在籍しません。大変喜ばしい状態です。各家庭の協力、地域の方々の見守りがあってこそその状態であると考えます。ありがとうございます。しかし、これで安心せず、これからもゼロであり続けるよう努力するとともに、各家庭と地域の方々には学校の教育活動への協力と支援をお願いしたいと思います。	3.5	事故や非行、不登校児童がないのは、小規模校ならではのきめ細かな指導の成果である。これからも、学校、保護者、地域が粘り強く続けていかなければならない。
基礎基本の定着と学力の向上	課題意識をもち、意欲的に活動し、ねばり強く取り組む子どもの育成	・国語79%(22名)算数82%(23名) 単元テスト平均して80点以上について、上記のような結果でした。学習の定着に個人差があり、その対応に努力している状況です。 評価は2.6ポイントで達成率とは差があります。これは、担任が個人差に対応しきれていないと自己評価をしている結果だと思われ	2.6	小規模校での特性を生かしたきめ細かな指導、力強い指導を期待する。
	読む・書く・計算する力を身に付けた子どもの育成	今年度は学年に合った文章を担当が選び、それを音読教材として取り組ませることを実施しました。児童に合っているので、楽しく取り組むことができました。	3.0	取り組み方を変更し、工夫が感じられる。今後も続けて取り組んでほしい。
	伝え合う力を身に付けた子どもの育成	・朝の会や各種集会・発表会等で元気な声で返事や発表54%(15名) 人前で話すことに苦手意識をもつ児童が多いと感じます。しかし、授業で自分の考えを自分の言葉で伝えることはできるようになっています。様々な場面で話すことができるようにするために、これからも継続して指導します。	2.8	小規模校から人数の多い中学校へ進学することになるので、コミュニケーション能力や発表力などを育成していただきたい。
	読書が好きな子どもの育成	【1年間の読書量の目標：低学年50冊 中学年60冊、高学年70冊】 ・1年間の読書量89%(25名) 。移動図書や図書館祭り、読み聞かせなど、様々な手立てをとって読書意欲を高める取り組みをしてきました。これからも継続・工夫しながら指導します。	2.8	図書数が少ない中で、この達成率は素晴らしい。本を読むことは大変よいことなので、力を入れてもらいたい。

評価スケール 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

## 総括

- 1 本年度の取り組みについて  
全職員の共通理解のもとに、具体的な手立てをとって取り組んできました。  
保健面については、学校全体としてはよい状態であると言えますが、将来の生活を考えると、気になることがあるのも事実です。そのために、家庭との連携を十分図っていきます。  
基本的な生活習慣については、校内での返事やあいさつはよくなってきています。その時その場で繰り返し教えていくことが今の児童の姿につながっています。  
学力向上は串間市が掲げる課題でもあります。授業改善及び家庭との協力を得ながら児童の学力向上に努力していますが、まだ十分とは言えず、課題となっています。
- 2 次年度の課題について  
基礎的・基本的な内容の確実な定着
  - ・ 「早寝・早起き・朝ご飯」などの基本的な習慣の習得
  - ・ 食育の推進(弁当の日)と健康の維持、体力の向上
  - ・ 家庭、地域社会との連携（基本的な生活習慣の定着、学力向上）

## 総評

- 学校の取り組みや子どもたちの努力がよい。今後も、小規模校のよさを活用して子どもたちの力を伸ばしてもらいたい。
- 学校の課題は私たちにも同様である。様々な呼びかけや情報発信を今後もお願いしたい。
- あいさつの大事さを再度教え、地域でもあいさつのできる児童を育てていただきたい。